

道の駅くしま

(仮称)

徹底解剖

まちの活性化へ

道の駅くしまは、JR串間駅、国道220号・448号線、県道今別府串間線などの交通網が交わる西方地区に立地を計画しています。市民や観光客などで利用しやすい場所に設置することによって、幅広い年齢層の方々に利用してもらつことをねらいとしています。

また、災害発生時においても、道の駅が市を中心部にあることで、防災の拠点として機能することも期待できます。

道の駅くしまを詳しく！

平成33年3月に完成予定の道の駅くしま(仮称)。以下、道の駅くしま一体、どのような道の駅になるのでしょうか。その中身を詳しくご紹介します。

道の駅は、道路利用者の休憩と地域振興、情報提供の場の3つの目的を持つた施設です。備えなければならない機能として、
①24時間利用可能な大容量の駐車場とトイレがある休息機能、
②地域や道路などの情報を提供する情報発信機能、③生涯・体験

学習などができる地域振興機能があります。

道の駅くしまには、この3つの機能に加えて、新たに4つの機能を持つた施設の導入を検討しています。4つの追加機能とその施設について紹介します。

そもそも道の駅とは？

- 市町村またはそれに代わり得る公的な団体が設置
- 市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- 24時間利用可能な駐車場・トイレ・情報提供施設・地域振興施設を備えていること
- 国土交通省と市町村で整備する場合と市町村で全て整備を行う2バターン(道の駅くしまは前者)

串間駅・市役所・学校などに近い中心地に平成33年3月完成予定



※イメージ図であり、完成予定図ではありません。

〈道の駅くしま〉

- まちの中心地にある
- 中心市街地に直接来訪者を呼び込める
- 幅広い年齢層の方が利用できる営業時間の設定を検討している

従来の道の駅

- 市街地から離れた場所にある
- 利用者の多くがそこだけ完結し、周遊しない
- 営業終了時間が早い

他とは違う!?

全国各地にある道の駅は、まちなかから離れた幹線道路沿いに設置されているものがほとんどで、にぎわいが「道の駅」のみで完結してしまい、地域の商店街まで来訪者の足が伸びない現状もあります。

しかし、道の駅くしまは、串間駅・市役所・学校などに近い中心地に立地を予定しているため、従来の道の駅とは違い、多くの来訪者を直接市街地へ呼び込むことができます。

串間ならではの食材を取り扱った飲食・物販施設の導入を検討しています。



みなさんのご意見、お待ちしております！

みんなで創る道の駅

市では、市民への周知にむけて、昨年12月3日に市民活動団体のご協力をいただき、道の駅に関する説明会を開催しました。

完成は3年後の平成33年の予定ですが、完成後も市民の方々からのアイデアにより道の駅をレベルアップさせていかなければならぬので、みなさんのご意見をお寄せください。

ご連絡は東九州道・中心市街地対策課 (☎0987-72-1111)まで。



説明会の様子

3 拠点機能

立地の利便性を生かし交通の拠点として機能させるとともに、集合場所などになる場所を提供。

活用例

- ・よかバスの拠点にする
- ・市内の交通情報を把握できる
- ・観光ツアーやタクシー、レンタカーの手配ができる

4 防災機能

立地や広い駐車スペースを生かして、災害時に避難場所として市民が活用できる場所を提供。

活用の仕方

- ・災害時に緊急避難ができる
- ・災害時に一時避難生活ができる
- ・災害時の救援物資や炊き出しなどを提供する場所
- ・災害の被害情報などの受信・発信の拠点

1 市民交流機能

道の駅を利用する市民が交流できる場として、生涯学習教室や展示イベントなどを開催。

活用例

- ・読書ができるカフェの導入
- ・料理教室、生涯学習教室の開催
- ・映画の上映
- ・子育て支援や子どもの一時預かり所の設置

2 イベント機能

市民や観光客が集うにぎわいの場として、屋根付きの広場でイベント開催の場を提供。

活用例

- ・フリーマーケットの開催
- ・朝市や地元商店の出張店舗の設置
- ・九州窯元行列と連携したイベントの開催
- ・音楽や季節ごとのイベントの開催

※上記の4つの機能はあくまで検討段階での案になります。